

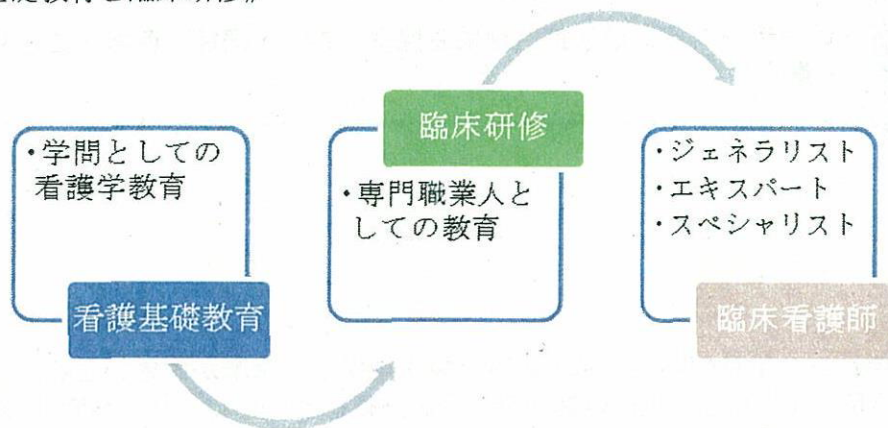
新人看護職員の臨床研修についての考え方

済生会横浜市東部病院 熊谷 雅美

【目的】

- 将来いかなる領域を専門にするとしても、看護師である以上習得しておくべき基本的看護を身に付けた臨床看護師を育成する。
- 看護のプロフェッショナルになるために必要な事柄を理解する。「専門職業人」
 - ・考えることができる
 - ・問題解決できる
 - ・マネジメントできる

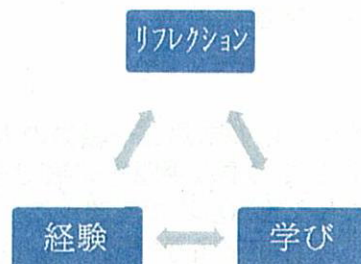
《看護基礎教育と臨床研修》



【教育方法】

看護基礎教育が修了していること、成人の学習者であることから

- ① 経験型学習：経験→リフレクション（意味付け）→学びの行動化のサイクル



- ② リアルなシミュレーション：「～のつもり」がない学習の内容を準備する
- ③ 自己学習や自己評価ができるようにシラバスやチェックリストを用いる
- ④ 屋根瓦式の支援体制：プリセプターによるシェアリング、サポーターによるコーチング

【教育内容】

- 原則
- ① 講義
 - ② 演習（一項目づつ）
 - ③ シナリオシミュレーション演習（場面を設定し、多重な技術を組み込む）
 - ④ 研修したことを臨床現場で実践する。研修→実践の繰り返しプログラム
 - ⑤ 自己学習できる場の準備（トレーニングセンター、トレーナー）